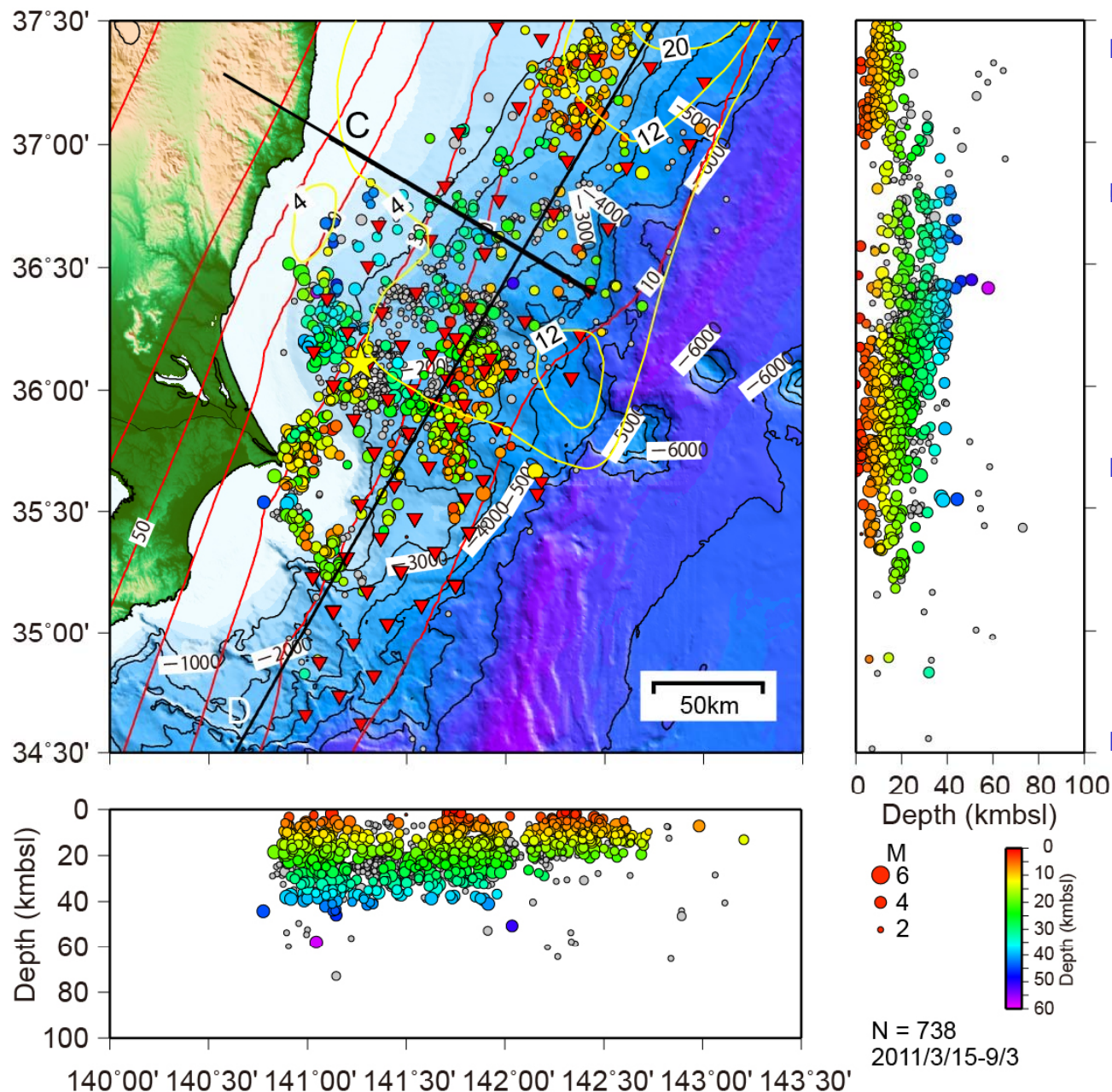
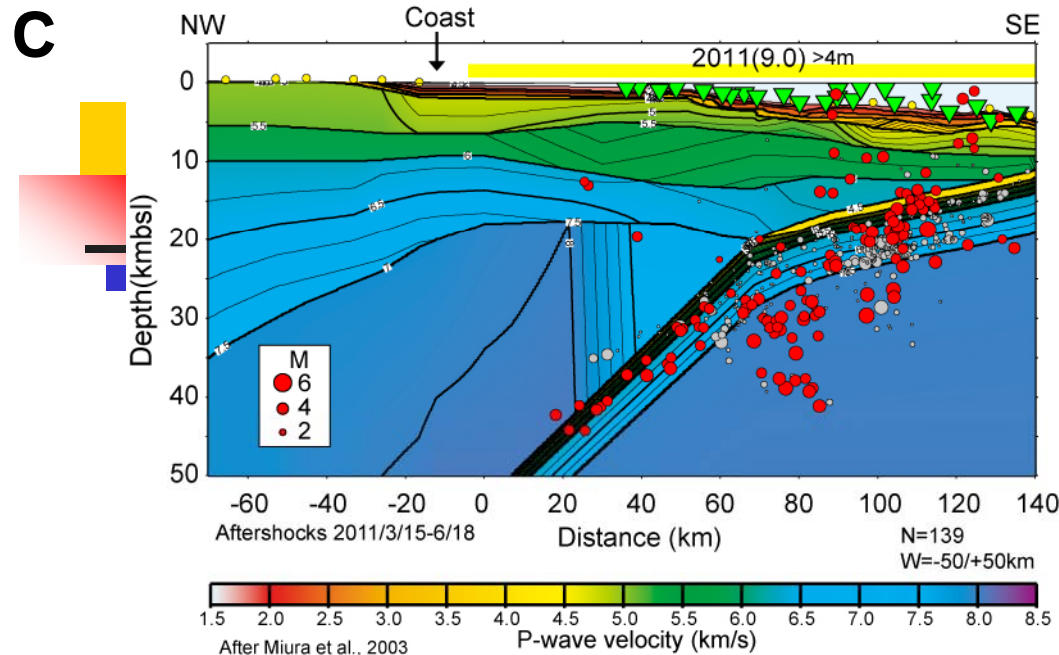


OBSによる震源分布(震源域南部)



- プレート境界での余震活動は活発
- 特に茨城県沖では、陸側プレート内にも活発な余震活動が見られる
- プレート境界深度が10kmより浅い領域では、余震活動は低調
- 本震約30分後に起こったM=7.7の震源付近では、余震の発生が少ない

速度構造との比較(南部)



- 南部ではプレート境界での余震活動が活発。
- 余震はプレート境界付近だけではなく、海洋プレートおよび陸側プレート内でも発生している。
- プレート境界域で発生する余震分布の南限は、太平洋プレートとフィリピン海プレートが接している領域と一致している。

